

# 社会 小学校 第6学年

## 個々の問題の出題の意図及びその正答率

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			正答率
	大問	小問	通番		思考・判断	観察・資料活用・表現	知識・理解	
日本の歴史	①	1	1	古墳ということばと、それらが何のためにつくられたものであるかわかっている。			○	96.8
		2	2	古墳を築いている様子を示す絵資料から、当時はどのような社会だったのかを読みとることができる。		○		88.3
		3	3	分布の様子を正しくつかみ、その分布の特徴や地図とかわらせて読みとることができる。		○		75.4
	②	1	4	各時代の大まかな特色をつかむとともに、その時代の代表的な人物とおきたことがらをかかわらせて考えることができる。	○			51.2
		2	5	聖武天皇の行ったことを正しく理解しているとともに、各時代を代表するたて物と人物や時代をかかわらせてわかっている。			○	82.3
		3	6	各時代におきたできごと、社会の様子や変化などを手がかりとして、時代の大きな流れを考えることができる。	○			28.6
	③	1	7	貴族や武士などのことばと、それらの人々がどのような生活を送っていたのか、どのような文化が生み出されたのかなどわかっている。			○	75.1
		2	8	各時代の政治が行われた中心地がどこにあったのか、おおよその位置を日本の地図上で、正しくわかっている。			○	48.9
		3	9	平安時代の国風文化の特色やその時代で生み出された代表的なものを正しくわかっている。			○	65.4
	④	①	10	織田信長の全国統一の歩みや、行ったことがわかっている。			○	64.9
		②	11	徳川家康の全国統一までの歩みがわかっている。			○	55.3
		2	12	全国統一をめざした秀吉が行った検地はどのようなことで、それはどのような目的で行われたのかを考えることができる。	○			43.2
		3	13	織田信長の全国統一の歩みの中での代表的な戦いや、鉄砲を活用して戦ったことなどを手がかりとして、適切な資料を選択することができる。		○		84.5
		4	14	3人の武将が全国統一にそれぞれどのような役割を果たしたのかを、歌の意味とかわらせて考え、自分のことばで表現することができる。	○	○		43.4
	⑤	1	15	資料が何を示しているのかを正しく読みとり、江戸幕府が大名や農民、キリスト教の信者をしたがるために行ったことがらを区別することができる。			○	65.1
		2	16	グラフの数字や文字が示すことを正しく読みとるとともに、幕府が大名をしたがるために行ったこととかわらせて考えることができる。	○	○		50.6
		1	17	明治の新しい世の中が開かれていく中で、ペリーが果たした役割を当時の日本の様子や年表などを手がかりとして考えることができる。	○			86.6
	⑥	2	18	新しい国をつくるために行われた様々な改革と、それらの改革の内容が正しくわかっている。			○	84.2
		3	19	明治維新から新しい国づくりの中でおきたことがらと、その時代に活躍した伊藤博文の行ったことがらをかかわらせて考えることができる。	○			74.7
		4	20	明治時代の人々の生活が江戸時代と比べて変化したもの、新しく生まれたものの点に着目して読みとり、どのように変わったのかを表現することができる。		○		78.6